



令和4年

8月号

# 広栄自治会便り

自助、互助、共助、公助で安心・安全・楽しい地域。自治会に加入しましょう。

## 1、安全祈願祭

7月25日月曜日午後5時から公民館前の広場で、公民館内部改装工事の安全を祈念し、常幸寺の住職の先導のもと、安全祈願祭が執り行われました。工事関係者、自治会役員、自治会員が参列しました。工事は7月26日から9月15日完成の予定で進められます。



直会

## 2、夏休み、朝のラジオ体操

7月21日木曜日から夏休みに入りました。朝、6時30分から公民館前でラジオ体操をしています。子供達10名、大人8名が心地良い汗を流しています。コロナ、サル痘、インフルエンザ、風邪のウィルスに負けない体力、免疫力をつけましょう。



## 3、自治会費と日本赤十字社共同募金の集金

8月1日月曜日午後1時から3時まで公民館前広場で自治会費と日本赤十字社の共同募金を集金します。合計1,500円です。宜しくお願いします。

## 4、みどり会定例会について

みどり会の定例会は中止です。8月1日午後2時から公民館前広場で資料を配布します。

## 5、笑点「シルバー川柳」

1笑 1若、1怒 1老

- ・ 妻旅行 オレは入院 犬ホテル
- ・ 早送り したい女房の 愚痴小言
- ・ 自己紹介 趣味と病気を ひとつづつ
- ・ 妖精と 呼ばれた妻が 妖怪に



嘉数 比屋良川公園のガジュマル

## 6、自治会員の声

二班 野波栄吉

職場が近いという理由で首里山川町から当地に引っ越して来た。50年程前である。当時の広栄団地は三十戸位の戸数で、団地をつくった建て売り業者が、地図を片手に未だ売れてない建物をチェックして歩いていたのを覚えている。

現在の公民館から東方は細い山道で、家は一軒もなかった。道の両側は雑木が生い茂り、農道が森川方面までつないでいた。当時を思い出させる様子が一番多く残っているのが、現在の生コン工場付近である。まず、あの付近を散策してみれば、墓が多く容易に昔がどんな所だったか想像できる。

西方は首里から普天間に通ずる道路があったから、集落の形をなしていた。当時は浦添村で伊祖トンネルは勿論、道もなく畑と山だった。

首里にいる親戚は何であんな田舎に移り住むのか不思議がり僕を叱った。ところが逆転、今は広栄団地が都会で首里は山田舎である。

## 7、自主防災組織の活動

災害への対応は隣近所で『日頃から協力し合い見守りを意識する』事から始まり、災害時慌てず家族・隣近所で協力し合える体制を作っていくことが大切です。自主防災組織は普及・啓発、災害危険地域の把握、災害時要援護者の情報把握、防災訓練の実施等を行い、災害時には被害の拡大を防止し軽減する為、初期消火、避難誘導、避難状況・安否確認、炊き出し等の活動を行います。

〒901-2101 沖縄県浦添市西原2-3-7 1階 浦添市地域包括支援センターゆいまある 宮城

\* 自治会長連絡先・090-1943-8789(玉那覇) 月曜日から金曜日の午後1時～5時まで公民館に常駐しています。

民生委員児童委員 比嘉ちか子 090-9782-7198、お気軽にご相談ください。

投稿いつでも大歓迎です！ 広栄自治会便り編集長 玉那覇 康晴